

第2回震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎） 概要

日 時：平成28年9月27日（火） 午後6時30分～午後8時30分

会 場：河北総合支所2階 会議室

概 要：

- (1) 第1回「震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎）」の振り返りについて
 - ・第1回「震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎）」で出された意見等について確認した。
- (2) 現地視察結果について
 - ・旧門脇小学校校舎と大川小学校旧校舎の現地視察の結果、新潟中越および広島・神戸の現地視察の結果を共有した。
- (3) 大川小学校旧校舎の現況と震災遺構整備等について
 - ・大川小学校旧校舎の現況と震災遺構整備等に関する情報を共有した。
- (4) 会議の進め方とスケジュールについて
 - ・今後の会議の進め方とスケジュールを確認・共有した。
- (5) 震災遺構（大川小学校旧校舎）整備等に関する協議について
 - ・協議テーマ案「整備する周辺施設」、「伝承・教育の内容」について意見を交換した。

会議での主な意見

- ・慰霊碑を別の場所に移動して伝承施設とは別にする。
- ・慰霊碑の設置場所は検討会議以外で決める。
- ・トイレに手洗い場を設ける。
- ・駐車場を整備して、トイレも駐車場内に設置する。
- ・防災教育のため、管理展示棟を設置する。
- ・全てを知ることができる総合施設（情報資料館）を設置する。
- ・震災前後の写真などを掲示して、語り部がいなくても分かるようにする。
- ・立ち入り禁止にする場合は、どういう場合には入れるのかを決める。
- ・慰霊追悼の場としての環境整備や旧校舎保存のあり方について、地域住民と協議を続ける。
- ・広島みたいに訪れた方が理解できるように物を残す。
- ・校舎に手を加えず事故防止のための安全対策を行う。
- ・何のために残すのか認識を共通にして、災害があったことを残す。
- ・防災・減災に繋げることのできる（防災教育の場）として保存する。
- ・東日本大震災の教訓を後世に引き継ぎ、防災・減災に繋げる事が出来る教育の場、多くの犠牲者を悼む慰霊と鎮魂の場にする。
- ・今後同じような悲しみ苦しみを発生させないように、後世に、全国に、全世界へ発信して伝える。
- ・全国の人たちからのたくさんの支援に対して恩返しをする。